



平成23 年2 月21 日

各 位

会社名 森下仁丹株式会社
代表者名 代表取締役社長 駒村 純一
(コード番号4524 東証、大証各第2 部)
問合せ先 取締役常務執行役員 武貞 文隆
電話番号 06-6761-1131(代表)

戦略的技術支援事業「地域イノベーション創出研究開発事業」採択のお知らせ
～ビフィズス菌が産生する新規多糖を利用した抗炎症化粧品の開発～

森下仁丹株式会社（本社：大阪市中央区／代表取締役社長：駒村純一）は、ビフィズス菌が産生する新規多糖を利用した抗炎症化粧品の開発に対し、経済産業省の戦略的技術支援事業「地域イノベーション創出研究開発事業」に採択（合計 25,647,000円）されましたのでお知らせします。

当社は、長年に亘る研究の成果として、安全性の知見と科学的エビデンスを備えた独自の機能性素材を保有しており、なかでも、独自菌株「*Bifidobacterium longum* JBL05」が産生する多糖(ビフィズス菌産生多糖体(以下 B P S という ※))については、優れた保湿作用を有する素材として配合した化粧品を上市するとともに、新たな機能の研究開発を進めてまいりました。その結果、このB P Sが、経口および塗布により、免疫調節作用、抗アレルギー作用を有することが明らかとなっております。

本事業では、特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議を管理法人とし、大阪府立大学大学院生命科学研究科（北村進一教授）、京都大学大学院工学研究科（秋吉一成教授）、北里大学北里生命科学研究科（山田陽城教授）と共同で、B P Sを配合した副作用の少ない保湿・抗炎症化粧品を開発し、乾燥肌や敏感肌の方の為のセルフメディケーション分野への新たな展開を目指します。

高齢化社会に伴いQOLの向上が求められる中、中長期的な業績への貢献が期待されるため、迅速に事業化を進めてまいります。なお、本年度の業績予想に変更はありません。

事業名：戦略的技術支援事業「地域イノベーション創出研究開発事業」 課題名：「ビフィズス菌が産生する新規多糖を利用した抗炎症化粧品の開発」 事業者：特定非営利活動法人近畿バイオインダストリー振興会議、森下仁丹株式会社、 公立大学法人大阪府立大学、国立大学法人京都大学、学校法人北里大学 交付決定：平成23 年2 月18 日
--

※注：B P S（Bifida Polysaccharide）

以上